

関西学院におけるキリスト教主義教育の展開

山 本 俊 正

2014年度は、プロジェクトの活動として、「建学の精神考第4集」の編集作業を行った。この課題は、ミッション展開推進委員会の中にある「自校教育プログラムチーム」より協力要請の依頼があり、RCCとしてこれを受け、本プロジェクトが担当することとなった。『建学の精神考』はキリスト教主義教育研究室により1993年3月に、第1集が発行され、第2集は1995年10月に、第3集は、1998年1月に発行されている。第3集以降は発行されておらず、学院125周年記念事業の一環として、第4集を発行することとなった。春学期の前半を使い、プロジェクト編集チームは、2回の編集会議をもち、「チャペル週報」をはじめとして、学院を構成する各学校、研究機関によって発行された、「建学の精神」に関連する文書を収集した。続いて、これらの文書を時系列に分類する作業を行った。春学期後半から夏休み、秋学期前半にかけて、編集チーム委員で分担し、分類された資料を読み合わせ、選考作業を進めた。編集会議は秋学期に2回行った。会議では掲載する原稿を絞り込み、最終的に32本の原稿を掲載することを決定した。秋学期後半の11月の段階で印刷所に本編の初稿を提出すると同時に、資料編の作成に着手した。数回の校正作業を編集チーム委員で分担し、最終的な校正はコンビーナー（山本）と事務局が担当した。以下は、編集作業を進めるに当たって編集チーム委員の間で合意した原則、またコンビーナーとして留意してきた編集方針に関連する事項を箇条書きにしたものである。参考まで付記する。

- ①本編の配列はテーマ別ではなく、1998年以降（第3集発行時）からの時系列とした。
- ②原稿は学院内で発表された原稿を再録した。また、学院内で各媒体にすでに

掲載、発行された原文を尊重し、原文のままの原稿を本編に掲載することを編集の基本方針とした。

- ③誤字、脱字、文法的な誤りは訂正した。長文の短縮、誤解を受けやすい表現については、可能な限り執筆者の許可のもとに訂正をした。
- ④聖書構成文書名（例えば福音書名）、聖書からの引用表記を統一した。また、執筆者が引用した聖書箇所を聖書索引として巻末に記載した。
- ⑤年代表記は西暦に統一、執筆者の肩書きは執筆当時の職位を原文のまま記載した。
- ⑥資料編については、本文で各執筆者が言及している資料を中心にまとめた。すでに掲載されている文書資料を転写し出典を明記した。また、日本語の定訳がない資料（憲法・Greetings from Dr. Bates）については原文のまま掲載した。

編集作業を中心的に進めた編集チームの委員は、本研究プロジェクトチームメンバーである、舟木 譲（経済）、嶺重 淑（人間福祉）、平林孝裕（国際）、打樋啓史（社会）、村瀬義史（総合政策）、岩野祐介（神学）の教員6名。コンピーナーは山本俊正（商学部）が担当した。